
Planning Lecture | Technical division and Network | Nuclear Fuel Cycle and Environment Division

[PL3F] How durable is HLW glass ?

Current understandings of HLW glass performance in geological disposal

Chair: Gento Kamei (JAEA)

Fri. Sep 9, 2016 1:00 PM - 2:30 PM Room F (Kumume City Plaza - Creative Box)

[PL3F06]Discussion

Chair: Katsuhiko Ishiguro¹ (1.NUMO)

ガラス固化体は核燃料サイクルから発生する全放射能の大半を含有する廃棄物であり、多種の放射性核種を化学的に安定なホウケイ酸ガラスのマトリクス中に固溶という形態で安定に閉じ込めた廃棄体である。従って、その核種保持性能は高レベル放射性廃棄物の冷却保管から地層処分までの数万年以上にわたる長期の安全性を担保する重要な役割を担っている。近年、フランスおよび米国を中心としてガラス固化体の性能を再確認する動きが始まっており、国際協力研究が活発になっている。本セッションでは近年の国際協力研究の背景と内容について紹介するとともに、日本の今後の研究の進め方について議論する。